

自己表現
のはずなのに...

ワクワク感のない履歴書

いったいどういうこと？

自分のコトについて書く・話す

自己表現

楽しくない...面倒くさい...
何を書こう...などなど

本来

喜び

履歴書

履歴書に自己表現(喜び)を阻む問題点がある？

① 資格「長所」特徴「欄」

🔍 個人の“らしさ”が引き出せない

そもそも「履歴書」には無意識のうちに理想像が存在している。(TOIECスコア〇〇〇点以上？ボランティア活動？留学？文武両道？)これらは「資格」を受けることのできる金銭的ゆとりを持った個人、「長所」「特徴」に繋がりを理想的で特別とされる経験をできる金銭的ゆとりを持った個人が評価されるという構造を作りかねない。所謂貧困層の固定化に繋がり、「1. 貧困をなくそう」に弊害にもなる。またこれらはあくまで表面的な個人を表すため「履歴書と個人のギャップ」が生まれ、仕事におけるやり甲斐や働く意味の喪失にも繋がりがかねない。「8. 働きがいも経済成長も」にそぐわない。

改善

「今、焦っていること」欄の提案

就職や学校生活において隣には常に不安がある。そして不安に向き合っていくことでそれは「焦り」に変わる。「焦り」に良いイメージはないが、しっかりと向き合っている証拠である。そして「焦り」の違いは向き合う対象の違いや考え方の違いであるから、個性が強く反映されている。また求められるのは純粋な自己との対話であるから、金銭的ゆとりは必要なく、「履歴書と個人のギャップ」も生まれなくなる。つまり心の奥にある考え方や行動原理が本当の「個性」や「特徴」「魅力」であるから、それを上手く引き出す手段として、「今、焦っていること」欄を提案する。

② 顔写真「欄」

😊 明らかなジェンダー差別

履歴書の「顔写真」には“替え玉防止”や“身だしなみチェック”などの役割があるそうだが、その中に「男性社員のモチベーション向上」の役割がある。美人と呼ばれるような人を採用するために「顔写真」をその判断材料として用いるのだ。これは明らかな差別である。会社において女性社員は男性社員のために働いているわけではない。その逆も然りだ。また、このような発想に至るのは「男×女」という前時代的考えが前提にあり、多様な性のあり方に対する理解もなければ、そこへの意識すら、欠落している。これは「5. ジェンダー平等を実現しよう」に逆行する。

改善

「顔写真」廃止の提案

多様性を認めていこうと、歩を進めている社会において、「顔写真」は障害にしかなり得ない。また、幾ら企業側や社会が努力をして一連の問題を防いだとしても、「顔写真」にはその張本が孕んでいるわけだから、容認できない。また「顔写真」の“替え玉防止”や“身だしなみチェック”の役割は「顔写真」でなくても十二分に果たすことができる。

③ 性別「欄」

👤 前時代的「性別」表記

現行の履歴書では最も一般的とされる①「〇囲み式」(男or女)がある。これは男女二元論に基づいており、ジェンダー平等性に欠けている。また②「〇囲み式」(男or女orその他)は①に比べれば多様性を意識しているが、「その他」は無属性という印象を与えてしまう。また③「記載式」は言葉で自らの性を表現できない可能性もある。そして②③のいずれにおいても勇気が必要になる。また④「性別欄なし」は他人のジェンダーに干渉しすぎないという点で評価できるが、「自己表現」という点を鑑みると、その機会を奪うと捉えることができるため、そぐわない。このように現行の「性別」欄のあり方では「5. ジェンダー平等を実現しよう」に反する。

改善

「性別4項目判断方式」の提案

①性自認②身体的性③性的指向④性表現の4つの項目でそれぞれ選択して判断を行うオリジナルの方式

項目	男		女
性自認	男	・	女
身体的性	男	・	女
性的指向	男	・	女
性表現	男	・	女

- * 各項目で自分が当てはまる位置に○を書く
- * 無回答の場合は真ん中の点に縦線を引く
- * 無性の場合は真ん中の点に●を書く

多様なジェンダーに対して柔軟に対応することができる。またこの方式での性別表記を広げていくことで多様なジェンダーは当たり前という意識付けをすることができ、一般化していけば当たり前となりジェンダーを意識する必要も無くなる。

このような改善を施すことで、履歴書がより自由なものとなり「自己表現の手段」として、ワクワク感を持つことができる。

また、の意識の植え付けにも繋がり、この履歴書が広がれば社会が目標達成に向けて一歩前進することができる。